

令和3年度
2021年度 事業計画



社会福祉法人
六高台福祉会

松寿園

Shojuen

おかげさまで、2021年9月11日、六高台福祉会は法人創立35周年を迎えます。
関係者皆様方のご支援に心より感謝申し上げます。

社会福祉法人 六高台福祉会

サービスコンセプト

理念

みんなの笑顔のために

素晴らしかったと言える人生のために

～1人のゲスト、1日の暮らし、そして1つ1つの介護から～



経営方針

- ❑ 地域に必要とされる事業等の展開を通し、社会貢献を積極的におこないます
- ❑ 福祉と介護事業のバランスを保った経営管理をおこないます
- ❑ ゲスト・ご家族・地域・職員の満足や安心を追求します
- ❑ 職員(人)を育てることを大切にします



介護方針

- ❑ 介護を自分のこととして考えることを基本とします(共生)
- ❑ 人が人として在り続けられる為の支援を提供します(人権)
- ❑ 介護を通して人生の安心・自由・喜び(明るい社会)を支援します(社会貢献)
- ❑ みんなの声が反映されるサービスを大切にします(協同)
- ❑ 自立支援型の介護を目指し、自己研鑽に励みます(専門性)



職員行動基準

- ❑ 温かいあいさつをします
- ❑ 温かい笑顔で仕事をします
- ❑ ゲストと一緒に楽しい時間を送ります
- ❑ 一流の介護人である前に一流の社会人になります
- ❑ 向上心を持ち、前向きな気持ちで仕事に励みます



社会福祉法人
六高台福祉会
Rokkoudai Fukushikai

事業計画のマップ

サービスコンセプト

1. 法人概要 1

2. 各事業の事業計画 6

- ・組織図 8
- ・各事業の稼働率等の目標 9
- ・法人本部サポートセンター 10
- ・施設サービス部（特別養護老人ホーム・ショートステイ） 14
- ・地域福祉サービス部（デイ・メル・ココからスタジオ・居宅） 17
- ・サテライトサービス部（エミシア松戸六実・ヘルプ・居宅） 23
- ・地域包括支援センター部（六実六高台・明第1） 27
- ・公益的取組み 30

3. その他 35

- ・六高台福祉会のあゆみ 35
- ・会議・委員会 36

4. 法人の行動指針 41

- I. ゲストに対する基本姿勢（CS） 42
- II. 地域に対する基本姿勢（CSR） 48
- III. 福祉人材に対する基本姿勢（ES） 52
- IV. マネジメントに対する基本姿勢 57

1. 法人概要

法人名称	社会福祉法人 六高台福祉会（1986年9月11日）		
主たる事務所	千葉県松戸市六高台2丁目19番の2 ☎047-386-6357 FAX047-387-8720		
理事長	松澤 陽子		
理事	松澤 陽子	理事長	2021.6 改選
	正田 貴之	常務理事・法人本部部長	
	鈴木 恵治	社会福祉士事務所代表	
	齋藤 直人	特別養護老人ホーム松寿園施設長	
	平居 昭範	特別養護老人ホーム松寿園アネックス施設長	
	堂前 恵美子	法人本部事務局長	
評議員	石井 清	連合町会会長・前理事	2021.6 改選
	藤木 政雄	前理事	
	松村 義彦	他社会福祉法人評議員・前理事	
	高橋 功	地区社会福祉協議会会長・前理事	
	中島 幸造	前理事	
	渡辺 トク	保護司、ボランティア代表	
	柴田 時子	民生児童委員・第3者委員経験	
監事	小川 新生	財務管理について識見を有する	2021.6 改選
	水落 英子	社会福祉事業について識見を有する	
事業の種類	1. 第一種社会福祉事業 イ) 特別養護老人ホームの経営 2. 第二種社会福祉事業 イ) 老人デイサービス事業の経営 ロ) 老人短期入所事業の経営 ハ) 老人居宅介護等事業の経営 3. 公益を目的とする事業 (1) 居宅介護支援事業の経営 (2) 地域包括支援センターの受託運営 (3) サービス付き高齢者向け住宅事業の経営 (4) 松戸市介護予防・日常生活支援総合事業の経営 (5) 社会福祉の増進に資する人材の育成・確保に関する事業 (介護福祉士等の養成事業) の経営		

担当理事

項目	担当理事	内容
統括	正田常務理事	会議体・委員会のとりまとめ
サービスの質の向上	平居理事	業務改善・効率の向上 介護ロボット・テクノロジーの活用 業務の標準化・平準化 介護事故・リスクマネジメント 虐待防止
職員育成・確保	齋藤理事	教育・研修 防災（自然災害・感染症災害） 採用（実習生・新卒・中途・外国人 介護職員等）
職員定着	正田常務理事 齋藤理事 平居理事	理念の浸透 処遇・環境改善 ワークライフバランスの推進
渉外	鈴木理事 正田常務理事	所轄庁等公的機関他
経営改善	正田常務理事	月次予算管理 月次収支管理 規定類の整備・活用・周知 事業運営の見直し 事務費・事業費の見直し

理事会・評議員会等スケジュール

開催月（予定）	評議員会/理事会 幹事監査	主要議題（予定）	備考
2021年5月	監事監査	2020年度計算書類	
2021年6月	理事会（旧）	2020年度計算書類及び財産目録 2020年度事業報告 監事監査報告・社会福祉充実計画 評議員選任委員会の招集 評議員選任委員の選任 理事・監事候補者の選任 組織改編（重要な人事） 定時評議員会の開催	監事監査 報告
2021年6月	評議員選任委員会	評議員の選任について	
2021年6月	評議員会（旧）	（報告）2020年度事業報告 2020年度計算書類及び財産目録 理事・監事の選任	
2021年6月	理事会（新）	理事長の選定	
2021年10月	理事会	業務執行の状況報告等	
2021年3月	理事会	2021年度補正予算 2022年度事業計画・2022年度予算 業務執行の状況報告等	
2021年3月	評議員会	同上	
<p>必要に応じて臨時開催・・・定款に定める議決事項及び重要事項について評議員会、理事会を随時開催する。また、定款第11条に定める監査を行うほか、必要に応じ中間監査を行う</p>			

借入金償還計画

内容	借入先	当初借入額	償還済	当期償還	残額 (2022/3)
3号館 特養 認知症 DS	独立行政法人 福祉医療機構 (2011/8)	361,800,000 円 (利率 1.4%)	133,421,000 円	20,004,000 円 (利息 2,788,886)	188,371,000 円
1号館 改修 特養	独立行政法人 福祉医療機構 (2011/8)	13,100,000 円 (利率 1.4%)	6,320,000 円	720,000 円 (利息 100,380)	6,780,000 円
合計	独立行政法人 福祉医療機構	374,900,000 円	179,749,000 円	20,724,000 円	195,151,000 円

工事・修繕等計画

内容	金額	備考
プライバシー保護改修工事	最大) 79,270,000 円	(73.4 万円×108 床) 特養従来・SS の居室内 * 補助事業 (地域医療介護総合 確保基金) * 確定後、補正対応
3号館浴室改修工事	1,200,000 円	特殊浴槽 (寝台) 設置のため
厨房床塗装	350,000 円	経年劣化
修繕予備費	5,000,000 円	空調、ボイラー等
合計	6,550,000 円 (補助事業含む最大 85,820,000 円)	

固定資産等購入計画

内容	金額	備考
ベッドの入替	1,000,000 円	5 台 *特養・SS
中間浴槽の入替	5,500,000 円	1 台 *特養 (従来) * 2020 年度補助事業
特殊浴槽 (寝台)	2,160,000 円	1 台 *特養 (ユニット 4F)
車いすの入替 (多機能型)	500,000 円	10 台 *特養・SS
車いすの購入 (リクライニング)	700,000 円	5 台 *特養・SS
マッサージチェアの入替	300,000 円	3 台 *特養・DS
食器の入替	350,000 円	
PC の入替	1,500,000 円	15 台
集音マイク・スピーカー	180,000 円	オンライン会議用 *包括
勤怠管理システム入替 (クラウド型)	1,880,000 円	
ICT 等テクノロジー関連 例：ネックピーカー・インカム・タブレット等	—	* 2021 年度補助事業が明らかになった時点で検討 (補正対応予定) * 特養・SS・DS
合計	14,070,000 円	

2. 各事業の事業計画

2021 年度の全体方針

3 つの方針と 10 のアクションプラン

2021 年介護報酬の改定が行われ、高齢者介護の現状と課題、これからの方向性が示されたことに伴い、当会の 2021 年度の事業計画は、3 つの大きな方針と 10 のアクションプランとしてまとめました。基本介護の更なる充実はもとより、具体的な評価基準が示され、介護の専門性を高める内容が整理されています。これらは、いずれ各種サービスの品質を問う具体的評価項目になることから、当面の重点課題として位置づけ、次の改定が行われる 2024 年を目指した 3 か年をかけて、じっくり、着実に進めてまいります。

3 つの方針

1. 質の高いサービスの提供を推進
質の評価やデータ活用を行いながら、科学的に効果が裏付けられたサービスを提供する 自立支援・重度化防止等の取組を推進する
2. 人材の確保と定着
人材の確保と離職防止・定着に資する取組を推進する
3. 感染症や災害への対応力強化
感染症や災害が発生した場合であっても、利用者に必要なサービスが安定的・継続的に提供される体制を構築する

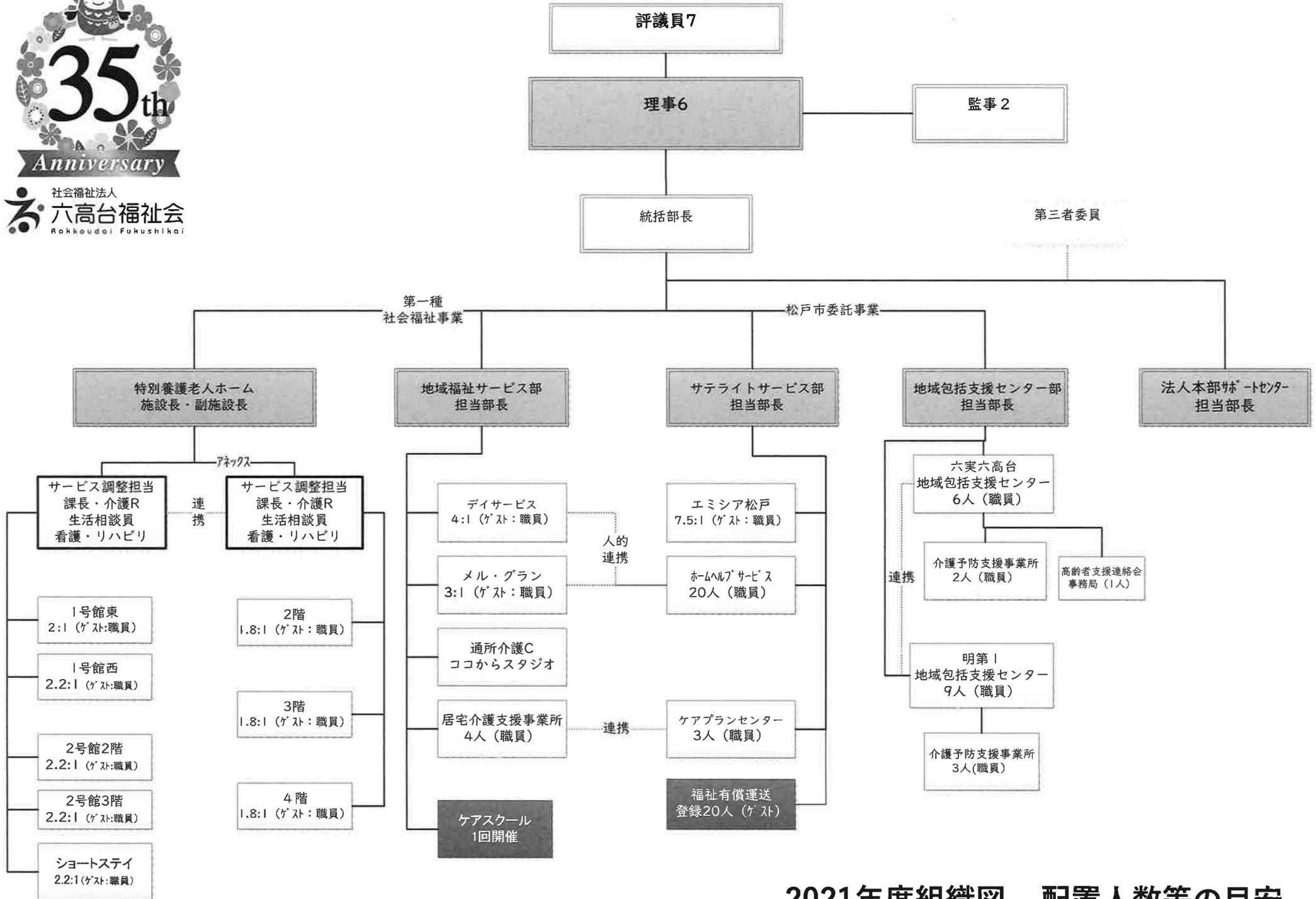
10 のアクションプラン

① 認知症への対応力向上に向けた取組
認知症介護実践・リーダー研修への参加者増員、認知症 BPSD ケアプログラムの取組
② 寝たきり防止・重度化防止の取組と看取りへの対応の充実
機能訓練・口腔ケア・栄養ケアの強化。ADL 維持、褥瘡発生防止、排泄の状態の改善の取組、ガイドラインに沿った看取りの取組、喀痰吸引の適切な実施体制の構築
③ 介護サービスの質の評価と科学的介護の取組
LIFE へのデータ提出とフィードバックの活用
④ 生産性向上の取組（テクノロジーの活用による業務効率化・業務負担軽減）
介護ロボット、見守り機器、インカム、ICT、生産性向上に資するガイドラインに沿った取組
⑤ 事故発生防止の取組（リスクマネジメント）と高齢者虐待防止の取組
安全対策担当者・虐待防止担当者の配置、リスクマネージャー（初級・中級）の育成

身体拘束ゼロの推進	
⑥ 介護（業務）の標準化の取組	
特別養護老人ホームの各フロアの介護の標準化への取組	
⑦ 人材の確保と定着	
採用) リクルート専用 HP の充実、奨学金制度の活用、留学生、技能実習生増員、特定技能の受入れ、ケアスクールの開設	
定着) ワークライフバランスの推進、有給休暇取得率 UP、産業カウンセラーの配置、衛生管理者の増員、ほめ達研修の受講、研修の見直し（Eラーニング、OJT の活性化）、資格取得支援、コミュニケーションの円滑化、ハラスメント対策、生産性の向上、介護の標準化、新規事業の取組、テクノロジーの活用、働き方改革の推進、職員駐車場の整備 *再掲あり	
⑧ 感染症や災害への対応	
感染対策の強化（研修・訓練の実施、当会独自の PCR 検査補助等）	
業務継続に向けて BCP の見直し、地域と連携した対応の強化（合同訓練）	
DWAT（災害派遣福祉チーム）への参画	
非常用自家発電設備の設置 *2020 年度～補助事業	
⑨ 住まいにおける生活環境の改善の取組	
特別養護老人ホーム多床室のプライバシー保護改修工事の取組 *補助事業	
ベッド・車いすの入替、見守り介護ロボットの導入	
⑩ 新規事業・公益的取組の推進	
在宅サービスの充実を推進するための事業への取組	
・福祉有償運送サービス ・ケアスクールの開講(初任者研修事業)	
・障害福祉サービスの検討 ・公益的取組みの再開	

【過去の事業計画の全体方針】

2008	暮らしの安心・自由・喜び	2015	今よりもっと良い方法がある！
2009	基本を見つめなおそう ～基本の振り返りからサービスを展開しよう～	2016	今よりもっともっと良い方法がある！
2010	社会に通用するサービスへ	2017	SSK 初心・新化・感謝
2011	楽のあるサービス	2018	働き方の効率と多様性を高めよう！
2012	自分が受けてもよいサービスを提供しよう！	2019	満足度（職員・ゲスト）を高めよう！
2013	当たり前前の暮らしを送り続けられる ために ～普通のケアを、普通に！～	2020	介護を通じて「生きる」をサポートする
2014	人生楽しく真剣に！ 心に花を咲かせよう！		



2021年度組織図 配置人数等の目安

各事業の稼働率等の目標

【目標稼働率・人数】

事業		定員	目標稼働率	目標人数
1	特別養護老人ホーム従来型	90人	97.5%	87.8人
2	特別養護老人ホームユニット型	60人	97.5%	58.5人
3	ショートステイ	20人	95.0%	19.0人
4	デイサービス	35人	85.8%	30.0人
5	認知症対応型デイサービス 六実・六高台	12人	83.3%	10.0人
6	ココからスタジオ	12人	25.0%	3.0人
7	ホームヘルプサービス	—	—	契約100人
8	サ高住 エミシア松戸六実	26人	96.2%	25.0人
9	居宅介護支援事業所松寿園	—	—	39人/CM
10	ケアプランセンター六実	—	—	39人/CM
11	介護予防支援事業所（六実・六高台）	—	—	70人/CM
12	介護予防支援事業所（明第1）	—	—	70人/CM
13	人材の育成・確保に関する事業（奨学金）	—	—	1人
14	（新）福祉有償運送事業	—	—	登録20人
15	（新）ケアスクール（初任者研修）	1回	—	10人

法人本部サポートセンター

2021 年度事業計画

役職・氏名	
法人本部	部長 正田 貴之
	部長補佐 正田 文乃
サポートセンター	細谷 素子

* 公益事業：社会福祉の増進に資する人材の育成・確保に関する事業（介護福祉士等の養成事業）の所管

部署名	法人本部サポートセンター
事業管理	本部長：正田 貴之 本部長補佐：正田 文乃 サポートセンター：細谷 素子

現状と課題	<p>・働き方改革の一環で労働時間に関する様々な法改正が行われ、「労働時間の正確な把握」「適切な勤怠管理」が重要な課題となっております。</p> <p>日々の労働時間を正確に把握するために必要な出勤、退勤、休憩時間、欠勤・遅刻の状況、休日の取得状況などについては、従前より全て紙による申請で行っております。職員個々の業務が多様化している中、申請に係る時間的ロスの発生や業務負担軽減に柔軟に対応することが必要であると考えます。</p> <p>・職員の働きやすい職場環境に更に力を入れ、より良い職場の雰囲気づくり並びに業務の効率化に向けて取り組んでまいります。</p>
テーマ・目標	<p>◆ 職場環境の改善及び構築に取り組めます</p> <p>◆ 専門的知識の習得に励みます</p> <p>◆ サービスのサポート、スタッフ・ゲストのサポート、経営のサポート</p>
具体的計画	
<p>1.職場環境の改善及び構築に取り組めます</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報共有の要素を持ったクラウド型勤怠管理システム導入を図り、職員の労働生産性の向上、業務負担の軽減に努めます ・備品在庫保管場所の整備を行い、動線レイアウトや保管効率を考慮した管理体制を築きます ・感染症対策に必要とされる物品の適切な購入と在庫管理に努めます <p>2. 専門的知識の習得に励みます</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経理・財務・人事、労務等のバックオフィス業務における個々のスキルアップを図るための研修受講を徹底します <p>3. サポート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業管理者の異動を伴う組織改編及び理事・監事・評議員の改選の対応 ・施設機能の保全に必要な大規模修繕を順次計画、実施する（補助事業の情報収集） ・「特別養護老人ホーム多床室のプライバシー保護改修工事」の補助申請サポート ・新規事業（ケアスクール、有償運送事業）立ち上げのサポート ・人材確保のサポート（ホームページのリクルートサイトの充実、外国人向け情報の提供、技能実習生・特定技能の受入れ）を実施 ・スタッフにとってより働きやすく、ゲストにとってより過ごしやすく、地域の皆様にとって信頼されるサービス・環境づくりに必要なサポート ・特定技能を安定的に受け入れるために登録支援機関の準備・検討（2022年度） ・社会福祉連携推進法人の調査・研究を進める 	

2021 年度 社会福祉法人六高台福祉会

日本語学校及び介護福祉士養成施設奨学金貸与 事業計画

1. 事業の目的

社会福祉法人六高台福祉会（以下「法人」という。）が、法人の理念及び活動方針を理解し、法人の経営する施設での就職を希望する国内在住の者及び私費外国人留学生等の人材を育成することを目的とする。

2. 事業計画

- (1) 奨学生受入れの環境整備（寄付金の費用計上等）を行う
- (2) 日本語学校及び介護福祉士養成施設との連携ネットワークの構築を図る
- (3) 奨学金を希望する学生の募集を行う
- (4) 奨学生の決定、契約を行う（1人）
- (5) 本法人内でのアルバイトの機会提供を調整する
- (6) 外国人のネットワーク支援・相談

3. 行動計画

年度	項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2021年度	奨学金制度の構築												
	理事会（業務執行報告）							○					○
	連携ネットワーク構築	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	奨学生募集	○										○	○
	候補者面談	○											○
	奨学生決定	○	○										○
	ヒアリング（奨学生面談）				○				○				○
	外国人のネットワーク支援	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

4. 予算

収入（2020年度寄付金実績） 2,031,000円 *2021/3/18現在
支出（奨学金） 360,000円 *1人×30,000円×12ヶ月

以上

外国人介護職員の雇用計画

2020 年度

制度	出身国	人数（人）	出身校等
EPA 経済連携協定	なし	0	
在留資格「介護」	ベトナム	1	松山福祉専門
	ミャンマー	1	おおたかの森専門
技能実習生	中国	2	公益社団）高齢者福祉事業支援協会
特定技能 1 号	なし	0	
留学生	ベトナム	1	松山福祉専門 1
		3	松戸国際学院（日本語）
合計	3 か国	8	

2021 年度

制度	出身国	人数（人）	出身校・管理団体等
EPA 経済連携協定	なし	0	
在留資格「介護」	ベトナム	2	松山福祉専門
	ミャンマー	1	おおたかの森専門
技能実習生	中国	2	公益社団）高齢者福祉事業支援協会 協同組合東京共同事務センター
	中国	2	
特定技能 1 号	ミャンマー	2	ツクイスタッフ又は 協同組合東京共同事務センター
留学生	ベトナム	3	松戸国際学院（日本語）
合計	3 か国	12	

施設サービス部

2021 年度事業計画

特別養護老人ホーム松寿園（従来型多床室）

特別養護老人ホーム松寿園アネックス（個室ユニット型）

ショートステイ松寿園（空床型）

役職・氏名		
施設サービス部	従来型・ショートステイ	ユニット型
施設サービス部 （施設長）	施設長 齋藤 直人	施設長 平居 昭範
サービス調整担当課	課長 伊藤 光子	課長 阿保 智子
	補佐 堀越	
	介護リーダー 平野	介護リーダー 佐藤
各フロアリーダー サブリーダー	1-東 野木・玉木	3-2 片桐・川尻
	1-西 染谷・斎藤や	3-3 藤原・金澤
	2-2 福元・河村	3-4 窪田
	2-3 飯塚・川島	—
	ショート 増田	—

事業名	<ul style="list-style-type: none"> ■ 特別養護老人ホーム松寿園（アネックス） ■ 短期入所生活介護事業所松寿園
事業管理者	施設長 齋藤 直人（従来型・短期） ・ 平居 昭範（ユニット型）
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 介護職員の人材確保、人材育成、サービス提供の見直し ・ ICTの更なる活用
テーマ・目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 感染症や災害への対応力強化 ・ 質の高いサービスの提供を推進 ・ 介護人材の確保と定着・育成
具 体 的 計 画	
<p>1. 感染症や災害への対応力強化</p> <p>①感染症対策の強化（研修、訓練の実施、当会独自のPCR検査、ワクチン接種等）</p> <p>②事業サービス継続に向けた取組を強化します（BCPの見直し）</p> <p>③地域と連携した対応の強化を図ります（地域住民との合同訓練の実施）</p> <p>④非常用自家発電設備の設置(2020年度～の補助事業)と定期訓練の実施</p> <p>⑤DWA T（災害派遣福祉チーム）への参画</p> <p>2. 質の高いサービスの提供を推進</p> <p>①認知症への対応力向上に向けた取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 認知症介護実践・リーダー研修 ・ 認知症介護基礎研修（介護職員で医療・福祉関係の資格を有さない者） ・ 認知症行動・心理症状の軽減への取組 <p>②看取りへの対応の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」に沿った取組の実施 ・ 喀痰吸引等の適切な実施体制の構築 <p>③科学的介護情報システム（Life）へのデータ提出（ADL、リハ、栄養、口腔・嚥下、認知症等）とフィードバックの活用により、PDCAサイクルの推進とケアの質の向上を図ります</p> <p>④ゲストの日常生活に関するアセスメント、計画に基づくケアの実践を通して、ADLの維持、寝たきり防止・重度化防止に取り組みます</p> <p>⑤褥瘡ケア計画・排泄支援計画に基づき、褥瘡発生予防、排泄状態の改善に努めます（Life）</p> <p>⑥テクノロジーを積極的に活用し、介護の負担軽減やケアの効率化を通して生産性の向上に取り組めます（介護ロボット、ICT、見守り機器、インカム、掃除ロボット等の導入）</p> <p>⑦事故の発生と発生時の適切な対応を推進し、安全対策を実施する体制を整備していきます</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 安全対策担当者の配置 ・ リスクマネジャー（初級・中級）の育成と対策の強化 	

⑧「尊厳」に関する理解を深め、人権が遵守されるサービスを提供します

- ・高齢者虐待防止担当者の配置
- ・身体拘束ゼロの推進

⑨介護サービスの標準化を推進します

- ・各フロアの介護の標準化を推進（介護リーダーの配置）
- ・ケアハンドブックの活用

⑩コロナ禍におけるレクリエーションについて工夫します

- ・オンラインレクの実施など

⑪住まいにおける生活環境の改善に取り組めます

- ・多床室のプライバシー保護改修工事 *補助事業
- ・中間浴槽、ベッド、車いすの入替
- ・日常清掃及び定期清掃の一部内製化の取組み（床清掃機の活用）

⑫同性による介護が推進されるよう努めます（入浴介助・排泄介助など）

⑬多事業所交流（サービスを経験）を通し、サービスの多角的な視点を養います

⑭年間稼働率を確保できるようサービス向上に努めます

- ・特養 97.5%以上（146.3人） ※従来：87.8人 ユニット：58.5人
- ・短期 95.0%以上（19.0人）

3. 介護人材の確保と定着・育成

①採用

- ・ケアスクールの開講、リクルート専用HPの開設、奨学金制度の活用、留学生・技能実習生の受入れ（増員）、特定技能の受入れ（初）、専門学校等への求人等
- ・多様な働き方と魅力ある職場づくりの推進（夜勤、入浴専門スタッフの採用）
- ・国の基準を上回り、サービスの質の向上のために必要な職員の配置

②定着・育成

- ・生産性向上、Lifeによる質の高いサービスへの取組、介護の標準化の推進
- ・新人職員、中途採用職員の研修体制の見直し
- ・プリセプターの見直しと新人職員へのOJTの見直し
- ・在職中の介護職員（常勤）を対象とした介護技術、サービス全般、ティーチングに関する研修の実施（毎月1回）
- ・施設内研修におけるeラーニングの活用
- ・職員の腰痛予防に必要なリハビリの情報発信（リハ）
- ・ハラスメント対策の強化（パワー・セクシャル・カスタマー等）
- ・職員とのヒアリングを実施し、職場のコミュニケーションの円滑化を図る
- ・各種資格取得の支援（介護福祉士、介護支援専門員、認知症ケア専門士など）
- ・ワークライフバランスの推進、有給休暇の取得率のUP
- ・夜勤時における適切な休憩の確保に向けた取組
- ・介護職員の離職率10%以下を目標とする

地域福祉サービス部

2021年度事業計画

デイサービスセンター松寿園

認知症対応型デイサービス 松寿園メル・グラン (地域密着型サービス)

松寿園ココからスタジオ (短期集中予防サービス・単一型)

居宅介護支援事業所松寿園

役職・氏名

地域福祉サービス部	部長	正田	貴之		
デイサービス	管理者	正田	貴之	リーダー	福嶋
				サブリーダー	藤澤
メル・グラン	管理者	福嶋	清美	サブリーダー	松井
ココからスタジオ	管理者	福嶋	清美		—
居宅介護支援事業所	管理者	広瀬	弘子		—

事業名	<ul style="list-style-type: none"> ■ デイサービスセンター松寿園 ■ 認知症対応型デイサービス 松寿園メル・グラン
管理責任者	管理者：(デイ) 正田 貴之・(メル・グラン) 福嶋 清美

現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2021年の4月、介護報酬が改定され、自立支援・重度化防止の推進・科学的介護など、インセンティブが拡充され、ADLの維持や、機能訓練などアウトカムな評価の考え方が強くなっています。 ・ デイサービスにおいても、ゲストの皆様のADLの維持改善につとめ、自立支援・重度化防止を推進し、介護保険制度が求めるデイサービスを構築すべく、ゲストの皆様の満足度の向上はもとより、安心安全にご利用いただけるサービス作りを行っていきます。 ・ 認知症のBPSDへの対応力の強化を図り、適切なケアを提供します。 ・ 感染症対策の強化をより一層図って参ります。
テーマ・目標	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 質の高いサービス提供を行う事で、ゲストの自立支援、重度化防止の取り組みを推進します ◆ 感染症対策の強化を図ります ◆ 認知症への対応力強化の取り組みを推進します ◆ 魅力的な職場環境を構築し、職員の満足度を高めます ◆ 稼働率 85.7%(30名様/日)を目標とします
計 画	
1. 質の高いサービスの提供を推進 <ul style="list-style-type: none"> ① 科学的介護情報システム(Life)へのデータ提出とフィードバックの活用により、PDCAのサイクルの推進とケアの質の向上を図ります ② 事故の発生と発生時の適切な対応を推進し、安全対策を実施する体制を整備します <ul style="list-style-type: none"> ・ 安全対策担当者の配置、リスクマネージャーの育成と対策の強化 ③ 生活機能の向上を目的とした機能訓練メニューを提供し、ゲストの生活意欲が増進される取り組みを行いIADLの維持向上にも努めます ④ BI(バーセルインデックス)を用いたアウトカム評価を継続して行っています ⑤ インカムを引き続き活用し、職員間のスムーズな情報共有を行います ⑥ 介護機器、福祉用具を適切に活用することで、ゲスト、スタッフ双方の負担軽減を図ります ⑦ コロナ禍におけるレクリエーションプログラムについて工夫します ⑧ 管理栄養士による栄養指導を継続実施します(月1回以上) ⑨ ご利用中の水分摂取量の目標を800ml以上とします ⑩ 恒例行事(お花見、お食事お買い物ツアー、納涼祭、敬老会、外出ドライブ等)を継続します ⑪ 同性による介護が推進されるよう努めます 	

- ⑫ 他事業所との連携を深化させることで、サービスの多角的な視点を養います
- ⑬ 認知症の BPSD に着目した、認知症 BPSD ケアプログラムを取り入れ、エビデンスに基づいた適切なケアを提供できる体制作りを行います（アドミニストレーター研修に参加）
- ⑭ 認知症実践者研修及び、認知症実践リーダー研修への受講を計画的に行います。
- ⑮ 認知症の BPSD の原因として考えられる①便秘②脱水③発熱④慢性疾患の悪化（高血圧・血糖値）等の生活管理の支援を大切にします。
- ⑯ 「認知症ケアで大切なこと」の実践を行い、入浴、排泄、食事等の日常生活のケアを大切にする^①ことでゲストの小さな変化にも気づけるようきめ細かなケアを提供することで、行動・心理症状(BPSD)予防、軽減に努めます
- ⑰ 認知症に特化したプログラムを充実させることで、認知症症状の予防、進行緩和、重度化防止に努めると共に、予防効果の高いプログラムを取り入れ、認知症の進行を予防します。
 （社会的役割の創出、リアリティーオリエンテーション、学習療法、音読、バリデーションケア、アロマセラピー、園芸療法、お料理教室、音楽療法、回想法、ケアボックス、アート療法、ボッチャ、シナプソロジー、コグニサイズ等）
- ⑱ 積極的に散歩の機会を作ります（歩く事へのアプローチをします）

2. 感染症や災害への対応力強化

- ① 感染症対策の強化（研修、地域住民との合同訓練、当会独自の PCR 検査補助等）
- ② サービス継続に向けた取組を強化します（BCP の見直し・点検）
- ③ スタンダードプリコーションの徹底を図ります
- ④ 非常用自家発電設備の設置（2020 年度～の補助事業）
- ⑤ 5S 活動を継続し、ゲストが安心、安全に過ごせる環境整備を行います

3. 魅力的な職場環境を構築し職員の満足度を高めます

- ① 職員個々のワークライフバランスを高め働きやすい職場作りに努めます
- ② 年次有給休暇の取得平均日数を 16 日(80%)以上/年を目指します

4. その他

- ① 年間稼働率を確保できるようゲスト満足度の向上に努めます
 - ・ デイ稼働率 85.8%(30 人以上/日)
 - ・ メル稼働率稼働率 83.3%(10 人以上/日)
- ② 法人が進める公的な取組み(ケアスクール、認知症カフェ、松寿園パートナー講座等)に参画する事で、地域包括ケアシステムの一環の役割として、地域連携の拠点機能的な実践を推進します
- ③ 法人が進める新たな取組み「福祉有償運送」を周知し、ゲストの外出支援に貢献します
- ④ 運営推進会議の開催を年 2 回以上おこないます

事業名	松寿園ココからスタジオ 松戸市短期集中予防サービス(短期集中予防サービス・単一型)
事業管理者	福嶋 清美

現状と課題	高齢者が要介護状態にならず元気な生活を送って頂くためには介護予防が重要な役割を占めています。運動を習慣化することで、健康寿命の延伸を目指し効果的な介護予防プログラムを提供させて頂くとともに、住み慣れた地域で元気にお過ごしいただける健康作りのお手伝いをさせていただきます
テーマ・目標	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 効果的で質の高い介護予防プログラムを提供します ◆ 利用者確保し安定的な事業運営の取り組みを行います ◆ 地域との連携の取り組みを継続します ◆ 感染症対策の強化を図ります
具 体 的 計 画	
<p>1.効果的で質の高い介護予防プログラムを提供します</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フレイルの状態から要介護状態にならないよう筋力強化のプログラムを継続します ・事前アセスメントを適切に行う事でお一人お一人に有効なプログラムメニューを作成し、目標達成率を上げることで事業所評価加算の算定が継続的に出来るように努めます ・認知症予防の観点からスタジオ開始前には脳トレを行います。 ・新しいメニュー(体操)を取り入れます <p>2.利用者確保し安定的な事業運営の取り組みを行います</p> <ul style="list-style-type: none"> ・稼働率 25%を目指します ・広報活動を積極的に行い利用者の確保に努めます。(チラシの継続配布) ・送迎の見直しを行い、ゲストの皆様のニーズに対応できる送迎方法を検討します ・地域包括支援センターとの連携、連絡体制を確保し包括職員との信頼関係を築くことにより、情報収集を行い、選ばれる事業所になります <p>3.地域との連携の取り組みを継続します</p> <ul style="list-style-type: none"> ・CoCo からスタジオの運営を継続しココからスタジオ修了生の活動の場所を提供します <p>4.感染症対策を徹底します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スタンダードプリコーションの徹底を行います ・マシン使用前、使用後の消毒を徹底します。 	

事業名	居宅介護支援事業所松寿園／松寿園ケアプランセンター六実
事業管理者	広瀬弘子／大成三津子

現状と課題	適切な質の高いケアマネジメント業務ができるように一人ひとりのケアマネジャーの専門性を高める必要がある 他者のケアプランを客観的に確認・評価をすることで、コンプライアンスの強化が図られ、より適正なケアマネジメントを行うことができる
-------	---

テーマ・目標	<ul style="list-style-type: none"> ◆ ケアマネジメント業務のコンプライアンスを強化する ◆ 質の高いケアマネジメントの実践 ◆ 介護報酬改定内容を熟知する
--------	--

計 画

1. 質の高いサービスの提供を推進

- ① 2020 年度末のアンケート調査のフィードバックから改善の PDCA を推進します
- ② 報酬改定の趣旨に則り事業所の規模拡大（所属 CM の増員）を推進します
居宅介護支援事業所：4 名（加算Ⅱ）、ケアプランセンター：3 名（加算Ⅲ）
- ③ 前 6 カ月間のケアプランの利用割合について適切に利用者に説明と公表をおこないます
- ④ 適切なケアマネジメントの実施を確保しつつ、経営の安定化を図る観点から、1 人あたりの件数の見直しを検討します（基本として 1 人あたり 39 件担当）
- ⑤ 生活支援のサービス（インフォーマル含む）が包括的に提供されるようなプランを作成します
- ⑥ 病院との連携やターミナルケアマネジメントを行います
- ⑦ 施設内研修・外部研修へ積極的に参加し、情報収集・専門性の向上に努めます
- ⑧ ケアプランの自己点検と事業所内点検をおこないます
- ⑨ 毎週課内会議を行い、ゲストの情報連携・ケアプランの他者点検などを行います
- ⑩ 地域資源を把握し、多様なサービスの情報収集に努めます
- ⑪ 地域包括支援センターと連携を図り、困難事例も積極的に受け入れます
- ⑫ 地域ケア会議への参加、地域個別会議に事例を提供して地域と連携を図ります
- ⑬ 介護支援専門員実務研修受入れ事業所としての役割を果たし、共に学ぶ姿勢を確認します
- ⑭ 認知症カフェの開催に参画し、地域住民の相談に乗るなど公益的事業に取り組めます
- ⑮ 災害などの緊急時にも迅速に柔軟に対応します
- ⑯ 他法人と共同で事例検討会・研究会を開催します

2. 職員満足度の向上への取組みを強化します

- ① 職員間のコミュニケーションが円滑に図り、困難事例に関してはチームとして情報の共有をします
- ② 常に業務効率を上げる方法を考え、ワークライフバランスを高めます
- ③ 働きやすい職場環境を構築し、職員の定着化を図ります
- ④ 年次有休取得率 80% が取得できるような体制を作ります

事業名	松寿園ケアスクール
事業管理者	

現状と課題	施設系介護従事者の確保が喫緊の課題となっている中、従前の求人手段を駆使した採用活動のみでは人材の確保が困難な状況となっています。 無資格・未経験者の求職者が一定数存在することから、法人内で採用から育成までの一連の研修体系を構築することで、求職者の掘り起こしの余地が生まれる。
-------	--

テーマ・目標	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 介護職員初任者研修を1回実施する（5名以上+職員） ◆ 当事業の取組を地域の皆様に幅広く周知する ◆ 研修講師を適切に実施、指導できる者を育成する（法人内）
--------	--

事業概要及び具体的計画

事業概要

- ・ ケアスクールとは（目的）
 - ・ 介護に関わる者が介護を行う上で最低限の知識・技術とそれを実践する際の考え方のプロセスを身につけ、基本的な介護業務を行うことができるようになる
 - ・ 職員確保における具体的方策となり得る
 - ・ 無資格の入職済み職員が受講することで、ケアの再確認ができ、サービスの質の底上げを図れる
- ・ 対象者
 - ・ 在宅・施設を問わず介護の仕事に従事しようとする者
 - ・ 既に当会に入職済みの職員
- ・ 研修科目及び研修時間

1 職務の理解	6時間
2 介護における専断の保持・自立支援	9時間
3 介護の基本	6時間
4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携	9時間
5 介護におけるコミュニケーション技術	6時間
6 老化の理解	6時間
7 認知症の理解	6時間
8 障害の理解	3時間
9 こころとからだのしくみと生活支援技術	75時間
10 振り返り	4時間
合 計	130時間

- ・ スケジュール（案）
 - 2021年5月・6月 理事会・評議員会において定款変更
 - 2021年8月 千葉県へ申請
 - 2021年11月頃～ 開講

サテライトサービス部

2021年度事業計画

サービス付き高齢者向け住宅 松寿園エミシア松戸六実
松寿園ホームヘルプサービス六実
松寿園ケアプランセンター六実

役職・氏名

サテライトサービス部	部長 小山 日愛
松寿園エミシア松戸六実	ホーム長 小山日愛
ホームヘルプサービス	管理者 隅田 信江
ケアプランセンター	管理者 大成 三津子

事業名	松寿園エミシア松戸六実
事業管理者	小山 日愛

現状と課題	<p>2020年度の目標であった入居待機者10名の確保、稼働率平均25名以上を継続することが出来たが、近隣地に競合サ高住2事業所がオープンすることとなり、厳しい地域情勢となっている。35年の運営実績と高齢者総合ケアセンターとしての強みを活かし、迅速な連携を強化し、競争力の高い運営に努める。</p> <p>現在ネットからの見学希望、入居問い合わせが主流となっている為、ネットだけでなく、口コミや紹介などの実質的な評価による新規入居者の入居ルート開拓にも再度力をいれたい。</p>
テーマ・目標	<p>◆質の高いサービスの提供を推進</p> <p>◆安定した稼働率を維持する</p> <p>◆重度化対応に必要な体制づくりを具現化する。</p>

具体的計画

1. 質の高いサービスの提供を推進

- ① 感染症や災害への対応力強化
 - ・研修、地域合同訓練の実施、BCPの見直し
 - ・ワクチン接種の支援
- ② 認知症への対応力向上に向けた取組
 - ・eラーニングを活用して認知症介護基礎を学ぶ
- ③ アクティビティの充実（コロナ禍での工夫）
 - ・出前、外食ツアー、買い物ツアー等
 - ・季節イベント（梨狩り、ぶどう狩り） ・地域イベントの参加（納涼会、文化祭）
 - ・エミシアイベント（映画会、敬老会、クリスマス会、節分、松寿園四季祭）
 - ・クラブ活動（エミシア菜園、着付け教室） ・機能訓練（集団体操等）
- ④ 重度化対応可能な体制
 - ・エミシア職員のホームヘルプ介護職兼務により効率的にきめ細かなケアが継続的に提供出来る
 - ・往診、透析等可能な外部サービスとの連携

2. 安定した稼働率維持計画

- ①稼働率・待機者目標設定（稼働率＝平均25名以上、入居待機者＝20名以上）
- ②ブログ更新（1回以上／月）を行い、運営の見える化をおこなう
- ③営業活動
 - ・営業先：包括、居宅、老健、病院（重点地域）松戸、柏、鎌ヶ谷
 - ・営業方法 訪問、ネット検索サイト（LIFULL介護、みんなの介護）の空き情報の更新（毎日）

事業名	松寿園ホームヘルプサービス六実
事業管理者	隅田 信江

現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・2020年度、人事異動等により管理者、サービス提供責任者が変わり新たな体制でスタートし、月の契約目標数を掲げ、約30名の新規契約を結ぶことが出来た。新年度も法人内の他事業所職員との連携を深め事業拡大に努める。 ・効率よく業務を運営し、職員の負担の軽減を図る。
テーマ・目標	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 質の高いサービス提供を推進 ◆ 感染症、災害対策強化 ◆ 事業運営の安定化（人材確保と定着）
具 体 的 計 画	
<p>1. 質の高いサービス提供</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 認知症への対応力向上に向けた取組 <ul style="list-style-type: none"> ・実践者研修参加（サ責）、eラーニング ② 職員研修を定期開催（eラーニングによる認知症研修他毎月実施） ③ 事故の発生と発生時の適切な対応を推進するために安全対策担当者・高齢者虐待防止担当者を配置する ④ 感染症対策の強化（研修、訓練の実施、PCR検査、ワクチン接種） ⑤ 訪問先を定期的に変更できる体制を構築し、健全なサービス提供する ⑥ 福祉有償運送の指定を受け、居宅ゲストの外出支援をサポートする ⑦ エミシア、デイサービス、法人本部職員との連携を深め、多機能型サービスを展開する <p>2. 事業運営の安定化</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 必要な人材の確保と法人内異動又は兼務を調整することで、事業所力の向上を図る ② 法人内募集（記載内容を詳細にして魅力的なパンフレット配布）、外部募集（ハローワーク、折り込み広告掲載、屋外募集掲載）による職員増を図り、ゲストへの複数ヘルパー派遣（そのゲストへの援助入り出来るヘルパーを増やす）による、派遣ルートの短縮・簡略化を図る ③ 年次有給休暇の取得率80%（年16日）を目指し、職員のリフレッシュを図る ④ 夏・冬季の訪問時における訪問移動等における労働環境の改善に努める ⑤ 障害福祉サービス事業への進出について、調査・検討をおこなう ⑥ 訪問ゲストの目標を実働100名とする 	

事業名	福祉有償運送サービス
事業管理者	

現状と課題	要支援・要介護高齢者等は単独で公共交通機関を使用して移動することが困難な場合が少なくありません。地域において「福祉有償運送」の取組がなされることで、いわゆる交通弱者の外出機会を創出するきっかけとなり、地域の交通インフラの一助を担うことができます。
-------	---

テーマ・目標	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 当会ご利用のゲストを中心に福祉有償運送の機会を提供する ◆ 当事業の取組を地域の皆様に幅広く周知する ◆ 登録者数 20 名を目標とする
--------	--

事業概要及び具体的計画

事業概要

・福祉有償運送とは

単独で公共交通機関を使用して移動することが困難な要介護者等を対象に通院や外出等を目的にタクシー運賃の概ね半額を料金として行うものです。当会所有の自動車を使用し、登録された会員に対してドア・ツー・ドアの個別運送サービスです。

・利用対象者

介護保険被保険者証をお持ちの方
 要支援認定又は要支援相当の認定を受けた方
 ＊当会の居宅サービス事業ご利用者様に限る

・事業者登録までの流れ

市町村（松戸市健康福祉部地域福祉課）が主催する「運営協議会」において、福祉有償運送の必要性、運送の区域、旅客から収受する対価等について合意されていることが必要となります。合意後、運輸支局等へ申請を行い、登録証発行をもって事業者登録が完了します。



・スケジュール（案）

2021年5月・6月 理事会・評議員会において定款変更
 2021年8月 運営協議会→運輸支局へ申請・登録
 2021年10月頃～ 事業開始

地域包括支援センター部

2021 年度事業計画

松戸市 六実六高台地域包括支援センター

松戸市 明第 1 地域包括支援センター

役職・氏名

松戸市	センター長	荒井	愛子
六実六高台地域包括支援センター	介護予防支援事業所	田部	亜希子
松戸市	センター長	岩崎	徹
明第 1 地域包括支援センター	副センター長	永田	恭子
	介護予防支援事業所	滝口	朋子

事業名	松戸市六実六高台地域包括支援センター・介護予防支援事業所 (高齢者いきいき安心センター)
事業管理者	センター長 荒井愛子 介護予防支援事業所 管理者 田部亜希子
担当地域	高柳・高柳新田・六実1～7丁目・六高台西・六高台1～9丁目

現状と課題	<p>新型コロナウイルス感染症禍においても業務を行える体制づくりをすすめる必要があり、各種教室運営、地域ケア会議においてもICTの活用を積極的にすすめなければならない状況です。相談内容は高齢者虐待、経済困窮、ダブルケア等多問題にわたり、地域共生の視点を踏まえ、ますます、「地域包括ケアシステムの深化・推進」が求められます。昨年度より、認知症初期集中支援チームの運営を担うことになりました。</p> <p>地域や関係機関とのつながりを更に強化し、六実六高台地域における地域包括ケアシステムをより充実させていくための取り組みを進める必要があります。</p>
テーマ・目標	<p>◆地域包括支援センター運営業務委託契約内容の確実な実施</p> <p>◆適正な介護予防ケアマネジメント・指定介護予防支援の継続</p> <p>◆職員が働きやすい職場環境づくり</p>

具 体 的 計 画

1. 運営業務委託契約内容を理解したうえで、確実に実施できるよう努めます

- ①職員一人ひとりが地域包括支援センター運営業務委託の内容を十分理解し、業務にあたります
- ②地域団体や関係機関との連携を深め、引き続き地域包括ケアシステムの構築を推進します
- ③委託契約内容を確実に実施するため、職員の専門性の研鑽を継続していきます

2. 適正な介護予防ケアマネジメント・介護予防支援により、介護予防を推進します

- ①事業対象者・要支援者の自立支援に向け法令・通知等を遵守し、多様なサービスの活用をしながら、適正なケアマネジメントに努めます
- ②業務委託時にも適正にケアマネジメントが行われるよう、情報共有・連携をはかります

3. 職員が働きやすい職場環境をつくります

- ①職員間のコミュニケーションを深め、互いに協力しあえる職場にしていきます
- ②業務の平準化を意識し、効率的な業務分担に努めます
- ③全職員が有給休暇を計画的に取得できる体制づくりを目指します

4. その他

六実六高台高齢者支援相談員会事務局の担当職員や相談員との円滑な連携に努めます

事業名	松戸市明第1地域包括支援センター・介護予防支援事業所 (高齢者いきいき安心センター)
事業管理者	センター長 岩崎 徹 副センター長 永田 恭子 介護予防支援事業所 管理者 滝口 朋子
担当地域	根本・吉井町・小根本・緑ヶ丘1～2丁目・松戸新田・仲井町1～3丁目・稔台・稔台1～8丁目・岩瀬・野菊野・胡録台

現状と課題	新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、緊急事態宣言が発令される中、感染防止対策に取り組みながら運営を行っています。担当圏域においては、生活困窮・精神疾患・就労、8050問題、ダブルケア等の複合的な生活課題を抱えるケースが増えています。前年度より、地域での見守りを目的としたオレンジパトウォークをスタートさせました。高齢化が進み、近隣に支援者のいない高齢者世帯や独居高齢者が増えており、地域の声かけや見守り連携体制の強化が課題です。新型コロナウイルスと共存しながら新たな地域課題、地域資源の発掘と育成に努めます。
-------	--

テーマ・目標	<ul style="list-style-type: none"> ◆新型コロナウイルス感染症における業務の取り組み ◆認知症高齢者支援 ◆身近な相談窓口としての周知・相談体制の強化 ◆地域資源の発掘・育成
--------	--

具体的計画

1. コロナ禍の中での事業の取り組み

- ①新しい生活様式を踏まえ、徹底した感染予防の取り組みを行い、コロナ禍に合わせた事業の再編を行います。
- ②オンラインを利用した会議や運動教室等の事業を開催いたします。

2. 認知症の早期把握・早期対応のため、認知症高齢者の支援を強化していきます。

- ①認知症初期集中支援チームや認知症予防プロジェクトを活用し、認知症の早期把握・対応を目指します。
- ②認知症サポーター養成講座を開催し、幅広い年代のオレンジ協力員を増員します。高齢者等の地域の見守り体制強化のため、オレンジパトウォークの継続・実施地域の拡充をします。

3. 積極的に地域に出向き、身近な相談窓口として出張相談等の開催や周知活動を行っていきます。

- ①事務所が担当圏域の端に位置する為、事務所以外での出張相談やイベント開催時に相談コーナーを開設するなど気軽に相談できる環境を作ります。
- ②啓発事業等のイベントやオレンジパトウォークでパンフレット等を配布し・PR方法の見直しを行います。

4. 地域資源の発掘・育成に努めます。

- ①新型コロナウイルスの感染拡大により、事業が中断している活動の再開に向けて支援をしながらコロナと共存する社会の中で求められる地域資源の発掘・育成の支援をします。
- ②地域課題に対するアプローチを行い、明るさ一番や地域ケア会議で議論し、人材・資源の発掘や創出を支援します。